



不審者対応避難訓練実施

2月19日（月）の6校時は、不審者対応の避難訓練を実施しました。学校における危機管理の中には、1学期の火災訓練、2学期の地震からの避難訓練、そして不審者への対応等があります。

登下校時にカバンに防犯ブザーをつけることを指導しているのも、子どもたちを犯罪から守る手だてのひとつです。1・2年生は学校の予備を含め、全員に所持させました。今後は定期的な点検を実施していきますので、ご家庭でもカバンに必ず着用させるようご指導ください。

さて、学校への不審者と聞いて記憶に鮮明に残っているのが、2001年6月に発生した「大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件」です。校舎内に刃物を所持した男が侵入し、教室で小学1・2年生の児童を殺傷しました。児童13名、教諭2名が重軽傷を負い、児童8名が死亡しました。この事件から学校は、学校の敷地や校舎内に侵入した不審者に対処するかという大きな問題に直面することになりました。

今回は、目的もなしに侵入ではなく、いじめを受けた被害者の祖父が加害生徒に会うために来校し、声をかけた職員の静止を振り切り、3年生の教室の階まで上がっていくという想定で行いました。教職員は、生徒の安全を確保しながら避難誘導させる迅速な動きを確認しました。大浦署のスクールサポーターの方が不審者役を演じてくださりました。避難後の体育館では、不審者への対応だけでなく、声掛け事案やSNS被害についても講話をいただき、中学生が被害者の多くを占めていることがわかり、自分の身は自分で守るということを改めて考える時間となりました。

深堀中生の活躍

★長崎新聞 声～若い広場（2月20日（火）掲載）

2年生 「長崎バスに乗る楽しい時間」

僕は、今とても生きることが楽しい。それは、自分にとって一番の楽しみが身近にあるからだ。

僕は長崎バスが好きだ。バスに乗り、長崎を回る。これが僕の趣味だ。小さいころからよくバスに乗っていた。1人でバスに乗り、いろんなところに行きはじめた。

中学生最初の夏、僕はHYBRIDと書かれたバスに興味を持ち、乗った。終点まで行った。そこは飯香浦だった。そこで運転手さんと話した。それが一番楽しい時間だった。それから、その運転手さんや別の運転手さんとも話して、長崎バスがとても好きになった。その運転手さんのバスに乗って普段行かないところにも行った。

2年生になると、運転手さんから、あるイベントの話聞いた。「運賃無料デー」だった。その日は利用者が多く混雑したけど、とても思い出に残った。

僕は長崎バスがほんとうに好きだ。古いバスから新しいバスまでピカピカのボディー。これからも、長崎バスに乗っていろんなところに行きたい。いつか、運転手になる日を夢見て。